

令和 8 年度（前期日程） 入学者選抜学力検査問題 数学 ③ の出題意図

① 数列の基本的な性質を正しく適用できる力量を問う。

(問 1) 以降の設問を解答しやすくするための誘導である。

(問 2) 基本的な数列の和の公式を適用できる能力の有無を検査する。

(問 3) 状況を正しく判断し、基本的な数列の和の公式を適用できる能力の有無を検査する。

② 確率に関する基本的な知識を問う。合わせて、対数の知識と極限に関する知識も問う。

(問 1) 確率における「乗法定理」を適用できる能力の有無を検査する。

(問 2) 対数の知識を理解し、それを問題解決に応用できる能力の有無を検査する。

(問 3) 微分積分学における有名な極限を理解し、それに関わる計算ができる能力の有無を検査する。

③ 空間ベクトルと三角比に関する知識を理解し、問題解決に適用できる力量を問う。

(問 1) 空間ベクトルの内積を利用できる能力の有無を検査する。

(問 2) ベクトルの知識を四面体の体積計算に生かす能力の有無を検査する。

(問 3) 余弦定理や正弦定理を適切に使用できる能力の有無を検査する。

④ 関数のグラフを活用して問題を解決できる力量を問う。合わせて、区分求積法を正しく適用できる力量を問う。

(問 1) 導関数を極値問題に活用できる能力の有無を検査する。

(問 2) 関数のグラフを利用して問題を解決できる能力の有無を検査する。

(問 3) 区分求積法を正しく適用できる能力の有無を検査する。